

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成21年8月7日

上場会社名 日本ハム株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長 (氏名) 畑 佳秀

TEL 06-6282-3046

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業税引前四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	236,531	△11.0	3,637	△62.7	4,953	△57.4
21年3月期第1四半期	265,713	7.1	9,738	231.6	11,634	322.3

	1株当たり四半期純利益	希薄化後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	—	—
21年3月期第1四半期	—	—

当社株主に帰属する四半期純利益※ 22年3月期第1四半期 3,161百万円 △57.9% 21年3月期第1四半期 7,511百万円 328.0%

1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益※ 22年3月期第1四半期 13円85銭 21年3月期第1四半期 32円92銭

希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益※22年3月期第1四半期 13円83銭 21年3月期第1四半期 32円86銭

※当期より「四半期純利益」は、米国会計基準審議会基準書(以下、「基準書」)第160号の適用により、「当社株主に帰属する四半期純利益」に名称を変更しております。

(注)営業利益は日本の会計慣行に従い、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(注)本資料におきましては、基準書第144号「長期性資産の減損又は処分に関する会計処理」及び基準書第160号に基づき、平成21年3月期第1四半期の数値を一部組み替えて表示しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	587,380	271,524	46.2	1,190.02
21年3月期	583,684	270,439	46.3	1,185.25

(注)「株主資本」は「当社株主資本」の金額を記載しています。

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	16.00	16.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業税引前当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期 連結累計期間	532,000	△0.7	9,000	△55.6	6,000	△47.3
通期	1,060,000	3.1	24,000	12.1	18,000	186.3

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社株主に帰属する当期純利益※ 第2四半期連結累計期間 3,500百万円 通期 10,000百万円

1株当たり当社株主に帰属する当期純利益※ 第2四半期連結累計期間 15円34銭 通期 43円83銭

※「当社株主に帰属する当期純利益」は、平成21年3月期までの「当期純利益」と同じ内容です。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は5ページ「4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	228,445,350株	21年3月期	228,445,350株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	277,047株	21年3月期	274,689株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	228,169,039株	21年3月期第1四半期	228,184,240株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### 業績全般の状況

当第1四半期のわが国経済は、輸出などの持ち直しを背景に底入れの兆しはありますが、設備や雇用の過剰感は払拭されておらず、回復と言える状況には至っておりません。

当業界におきましても、飼料価格や原燃料価格などの調達面における高騰は沈静化しましたが、それ以上に食肉相場の低迷や需要の減少、市場における価格競争の激化があり、厳しい環境が続いております。

このような中、当社グループは、平成21年4月よりスタートさせた「新中期経営計画パートⅢ」のテーマに掲げた「国内事業の更なる強化とグローバル企業への挑戦」を果たすべく、様々な経営課題に取り組んでまいりました。経営方針のひとつである「事業の選択と集中による収益力の向上」に基づき、不採算事業の見直しや遊休資産の売却などを着実に推進するとともに、SCM改革における物流拠点の整備や業務効率化に向けたシステム投資などを実施してまいりました。売上げにつきましては、TVCMの投入など積極的な販売促進やグループ連携による量販店への拡販の強化を図りましたが、相場低迷による食肉の販売価格の下落や世界的な不況に起因した海外事業の低迷の影響を強く受けました。

また、同じく経営方針である「品質No.1経営の定着と進化」を図るべく、お客様視点による品質向上活動の更なる強化と品質管理ミスの再発防止策の徹底を図りました。また、CO2削減などの環境問題への対応や様々な食育活動などの社会の要請にも応えてまいりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高については対前年同期比11.0%減の236,531百万円となりました。利益につきましては、前年同期に比べて食肉相場が下落した影響などにより、営業利益は対前年同期比62.7%減の3,637百万円、継続事業からの税金等調整前四半期純利益は対前年同期比57.4%減の4,953百万円、当社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比57.9%減の3,161百万円となりました。

#### オペレーティング・セグメントの概況

##### (加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門は、主力ブランド商品である「シャウエッセン」と中元ギフトにTVCMを投入するとともに、増量セールや消費者向けキャンペーンなどを展開してまいりました。また、消費者の健康志向に対応した「新鮮生活ZERO」シリーズのラインアップを充実し、売上げを伸ばさせました。

加工食品部門は、市場環境に対応したメニュー開発による「中華名菜」シリーズの充実や中国産餃子問題の影響を受けていた「天津閣」シリーズの市場の掘り起こしなどに取り組ましました。しかしながら、地域の業務用チャネルにおいて苦戦したことや「石窯工房」シリーズが規格変更などの影響もあって伸び悩み、売上げは減少しました。

両部門とも品質向上活動とともに生産ラインおよび商品アイテムの削減、地道な経費削減などにも積極的に取り組み、生産性向上活動を展開しました。

以上の結果、加工事業本部の売上高は対前年同期比1.2%減の77,675百万円、営業利益は対前年同期比92.3%増の1,631百万円となりました。

##### (食肉事業本部)

食肉事業本部は、自社グループ農場から全国の販売会社までの一貫供給体制であるインテグレーションシステムの強みを活かし、売上げの拡大に取り組ましましたが、長引く不況による需要の減退や販売価格の大幅な下落もあり売上げは減少しました。

利益面につきましても、国内・海外の生産部門を中心にコスト削減に注力し、一定の成果をあげましたが、相場下落を吸収するまでには至らず、ファーム事業などの川上分野が苦戦しました。また、輸入食肉の国内販売におきましても、相場の低迷による利益率の悪化と売上げの低下による売上総利益の減少もあり、食肉事業本部は、好調だった昨年同期に比べて大幅な減益を余儀なくされました。

以上の結果、食肉事業本部の売上高は対前年同期比16.4%減の156,044百万円、営業利益は対前年同期比77.0%減の1,941百万円となりました。

**(関連企業本部)**

水産部門は、重点顧客に対する製販一体となった拡販に努め、量販店への売上げを伸長させましたが、景気低迷による消費者の低価格志向により、マグロやウナギ、カニ・ホタテ缶などの高単価品の売上げが減少したことや回転寿司などの外食において価格競争が熾烈となり、売上げは減少しました。

乳製品部門は、チーズにつきましては相場の低迷による単価の下落はありましたが、商品開発を進め、外食ルート販売を強化しました。また、ヨーグルト、乳酸菌飲料につきましては、主力商品に絞り込んだ販売促進に努め、売上げは微増となりました。

利益につきましては、両部門ともに、在庫削減などの効率化を図りましたが、水産物・チーズなどの相場下落により厳しい状況となりました。

以上の結果、関連企業本部の売上高は対前年同期比 0.1%減の 32,174 百万円、営業損失は 115 百万円（前年同期は 307 百万円の営業利益）となりました。

**2. 連結財政状態に関する定性的情報****《財政状態》**

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ、受取手形及び売掛金が 1,168 百万円、棚卸資産が 1,860 百万円それぞれ増加したことなどにより前期末比 0.6%増の 587,380 百万円となりました。負債については、前期末に比べ短期借入金が 2,981 百万円減少しましたが、未払費用が 4,283 百万円、支払手形及び買掛金が 1,591 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 0.8%増の 313,842 百万円となりました。なお有利子負債は、前期末から 3,786 百万円減少し 165,164 百万円となりました。

当社株主資本は、前期末比 0.4%増の 271,524 百万円となりましたが、総資産も増加したことから、当社株主資本比率は前期末比 0.1 ポイント減の 46.2%となりました。

**《キャッシュ・フロー》**

営業活動によるキャッシュ・フローは、為替換算差額や棚卸資産、受取手形及び売掛金の増加などはありませんでしたが、未払費用及びその他の流動負債、四半期純利益及び支払手形及び買掛金の増加などにより、12,035 百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券及びその他の投資有価証券の売却はありましたが、定期預金の増加及び固定資産の取得などにより 4,965 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、現金配当や短期借入金の減少、長期債務の返済などにより、8,163 百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 919 百万円減少し 40,404 百万円となりました。

**3. 連結業績予想に関する定性的情報**

平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績の予想につきましては、平成21年5月15日の平成21年3月期決算短信にて公表した見通しから変更していません。

**将来情報に関するご注意**

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 : 有

平成19年12月に、米国財務会計基準審議会は基準書第160号「連結財務諸表における非支配持分—会計研究公報第51号の改訂」を発行しました。基準書第160号は、子会社の非支配持分及び連結対象外となった場合の会計処理及び報告の基準について規定しています。また、基準書第160号は、親会社持分及び非支配持分を明確に特定かつ識別しており、親会社持分及び非支配持分に帰属する損益を識別して開示することを要求しています。

当社は、平成21年4月1日より基準書第160号を適用しています。基準書第160号の適用により、従来は連結貸借対照表の負債の部と資本の部の中間に独立の項目として表示していた「少数株主持分」は、「非支配持分」に表記を改め、資本の部に含めて表示しています。これに伴い、従来の「資本」も「当社株主資本」に表記を改めています。また、連結損益計算書については、従来は原価及び費用の「その他」に含めていた少数株主持分損益を、「非支配持分に帰属する四半期純利益」として「四半期純利益」の後に独立表示し、「四半期純利益」から「非支配持分に帰属する四半期純利益」を控除した数値を「当社株主に帰属する四半期純利益」として表記しています。

基準書第160号の表示に関する規定は遡及的に適用されるため、連結キャッシュ・フロー計算書を含む過年度の連結財務諸表の数値を一部組み替えて表示しています。

- (4) 連結財務諸表の作成基準

当社の連結財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められた会計基準に準拠して作成しています。また、当期の表示に合わせて前期の数値を一部組み替えて表示しています。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日現在)	前連結会計期間末に係る 連結貸借対照表 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	40,404	41,323
定期預金	15,066	4,923
有価証券	275	10,051
受取手形及び売掛金	103,959	102,791
貸倒引当金	△ 868	△ 674
棚卸資産	117,625	115,765
繰延税金	6,642	6,410
その他の流動資産	9,781	10,380
流動資産合計	292,884	290,969
有形固定資産(減価償却累計額控除後)	232,336	232,862
無形固定資産	12,392	11,729
投資及びその他の資産		
関連会社に対する投資及び貸付金	2,233	2,168
その他の投資有価証券	17,556	15,811
その他の資産	11,580	11,366
投資及びその他の資産合計	31,369	29,345
長期繰延税金	18,399	18,779
資産合計	587,380	583,684
(負債及び資本の部)		
流動負債		
短期借入金	53,474	56,455
一年以内に期限の到来する長期債務	8,092	6,943
支払手形及び買掛金	86,968	85,377
未払法人税等	1,655	2,274
繰延税金	995	646
未払費用	19,795	15,512
その他の流動負債	12,214	10,913
流動負債合計	183,193	178,120
退職金及び年金債務	22,894	23,259
長期債務(一年以内期限到来分を除く)	103,598	105,552
長期繰延税金	2,497	2,492
その他の固定負債	1,660	1,885
負債合計	313,842	311,308
当社株主資本		
資本金	24,166	24,166
資本剰余金	50,959	50,963
利益剰余金		
利益準備金	7,120	7,013
その他の利益剰余金	205,991	206,588
その他の包括損益累計額	△ 16,368	△ 17,950
自己株式	△ 344	△ 341
当社株主資本合計	271,524	270,439
非支配持分	2,014	1,937
資本合計	273,538	272,376
負債及び資本合計	587,380	583,684

(注) その他の包括損益累計額の内訳  
 売却可能有価証券未実現評価損益 1,295  
 デリバティブ未実現評価損益 △ 476  
 年金債務調整勘定 △ 12,832  
 外貨換算調整勘定 △ 4,355

当第1四半期連結会計期間末  
 1,295  
 △ 476  
 △ 12,832  
 △ 4,355

前連結会計年度末  
 262  
 △ 399  
 △ 13,080  
 △ 4,733

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 連結累計期間 自平成21年4月 1日 至平成21年6月30日	前年同四半期 連結累計期間 自平成20年4月 1日 至平成20年6月30日	(参 考) 前連結会計年度 自平成20年4月 1日 至平成21年3月31日
収 益			
売 上 高	236,531	265,713	1,028,449
そ の 他	2,898	3,090	1,299
収 益 合 計	239,429	268,803	1,029,748
原 価 及 び 費 用			
売 上 原 価	190,525	214,255	833,564
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	42,369	41,720	173,468
支 払 利 息	537	679	2,506
そ の 他	1,045	515	13,923
原 価 及 び 費 用 合 計	234,476	257,169	1,023,461
継 続 事 業 か ら の 税 金 等 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	4,953	11,634	6,287
法 人 税 等	1,783	4,207	4,651
継 続 事 業 か ら の 持 分 法 に よ る 投 資 損 益 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,170	7,427	1,636
持 分 法 に よ る 投 資 損 益 ( 法 人 税 等 控 除 後 )	32	2	△ 440
継 続 事 業 か ら の 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,202	7,429	1,196
非 継 続 事 業 か ら の 純 損 益 ( 法 人 税 等 控 除 後 )	-	93	553
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,202	7,522	1,749
( 差 引 ) 非 支 配 持 分 に 帰 属 す る 四 半 期 ( 当 期 ) 純 損 益	△ 41	△ 11	△ 92
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,161	7,511	1,657

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第1四半期 連結累計期間 自平成21年4月 1日 至平成21年6月30日	前年同四半期 連結累計期間 自平成20年4月 1日 至平成20年6月30日	(参 考) 前連結会計年度 自平成20年4月 1日 至平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー：			
四半期(当期)純利益	3,202	7,522	1,749
調 整 項 目：			
減 価 償 却 費	5,886	6,034	24,646
固 定 資 産 減 損 損 失	66	275	2,730
繰 延 税 金	△ 105	3,272	2,176
為 替 換 算 差 額	△ 3,048	△ 745	5,300
受取手形及び売掛金の(△増)減	△ 698	△ 4,825	5,705
棚 卸 資 産 の 増	△ 645	△ 12,148	△ 8,149
その他の流動資産の(△増)減	491	△ 3,254	3,691
支払手形及び買掛金の増(△減)	1,104	14,729	△ 310
未払法人税等の増(△減)	△ 638	△ 497	362
未払費用及びその他の流動負債の増	5,650	4,339	200
そ の 他 — 純 額	770	△ 55	△ 324
営業活動による純キャッシュ増	12,035	14,647	37,776
投資活動によるキャッシュ・フロー：			
固 定 資 産 の 取 得	△ 4,383	△ 4,850	△ 16,877
固 定 資 産 の 売 却	129	305	2,886
定期預金の(△増)減	△ 9,596	2,196	9,383
有価証券及びその他の投資有価証券の取得	△ 1,023	△ 231	△ 10,283
有価証券及びその他の投資有価証券の売却	9,998	310	350
そ の 他 — 純 額	△ 90	△ 446	△ 856
投資活動による純キャッシュ減	△ 4,965	△ 2,716	△ 15,397
財務活動によるキャッシュ・フロー：			
現 金 配 当	△ 3,661	△ 3,658	△ 3,663
短期借入金の増(△減)	△ 2,658	10,802	△ 1,694
長期債務の借入	-	2	40
長期債務の返済	△ 1,842	△ 2,996	△ 19,395
そ の 他 — 純 額	△ 2	△ 10	△ 49
財務活動による純キャッシュ増(△減)	△ 8,163	4,140	△ 24,761
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	174	223	△ 544
純キャッシュ増(△減)	△ 919	16,294	△ 2,926
期首現金及び現金同等物残高	41,323	44,249	44,249
期末現金及び現金同等物残高	40,404	60,543	41,323
補足情報：			
年間キャッシュ支払額			
支 払 利 息	655	722	2,521
法 人 税 等	2,321	1,817	749
キャピタルリース債務発生額	839	507	3,601

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## オペレーティング・セグメント情報

連結会社のオペレーティング・セグメントは、以下の3つの事業グループから構成されています。

加工事業本部：主にハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売

食肉事業本部：主に食肉の生産・販売

関連企業本部：主に水産物・乳製品の製造・販売

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	72,442	135,568	31,433	239,443	(2,912)	236,531
(2) セグメント間の内部売上高	5,233	20,476	741	26,450	(26,450)	-
計	77,675	156,044	32,174	265,893	(29,362)	236,531
営 業 費 用	76,044	154,103	32,289	262,436	(29,542)	232,894
営 業 利 益（△ 損 失）	1,631	1,941	△ 115	3,457	180	3,637

前年同四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	73,784	164,441	31,232	269,457	(3,744)	265,713
(2) セグメント間の内部売上高	4,873	22,234	990	28,097	(28,097)	-
計	78,657	186,675	32,222	297,554	(31,841)	265,713
営 業 費 用	77,809	178,254	31,915	287,978	(32,003)	255,975
営 業 利 益	848	8,421	307	9,576	162	9,738

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれています。  
 2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しています。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っています。  
 3. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。  
 4. 非継続事業からの損益への組み替えは、「消去調整他」に含まれています。  
 5. 平成21年4月1日付で、一部の子会社の管轄事業本部を変更したため、関連する各報告オペレーティング・セグメントの前年同四半期連結累計期間について組替再表示を行っています。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成22年3月期第1四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

平成21年8月

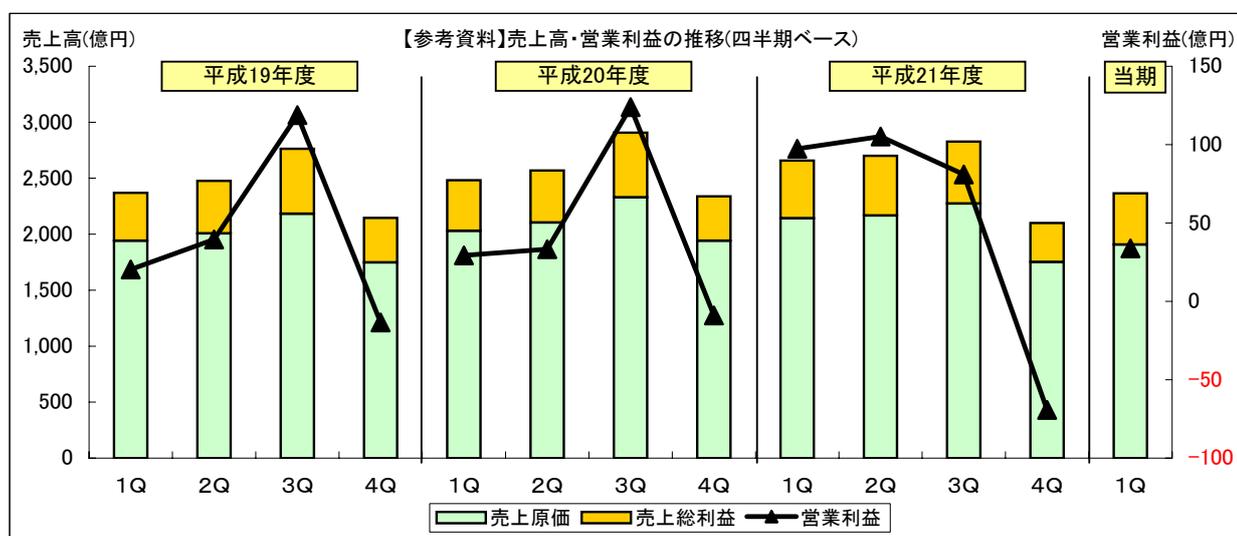
注) 本補足資料におきましては、米国財務会計基準審議会基準書第144号及び第160号に基づき、平成21年3月期以前の数値を一部組み替えて表示しております。

# I ハイライト情報

《連結決算》

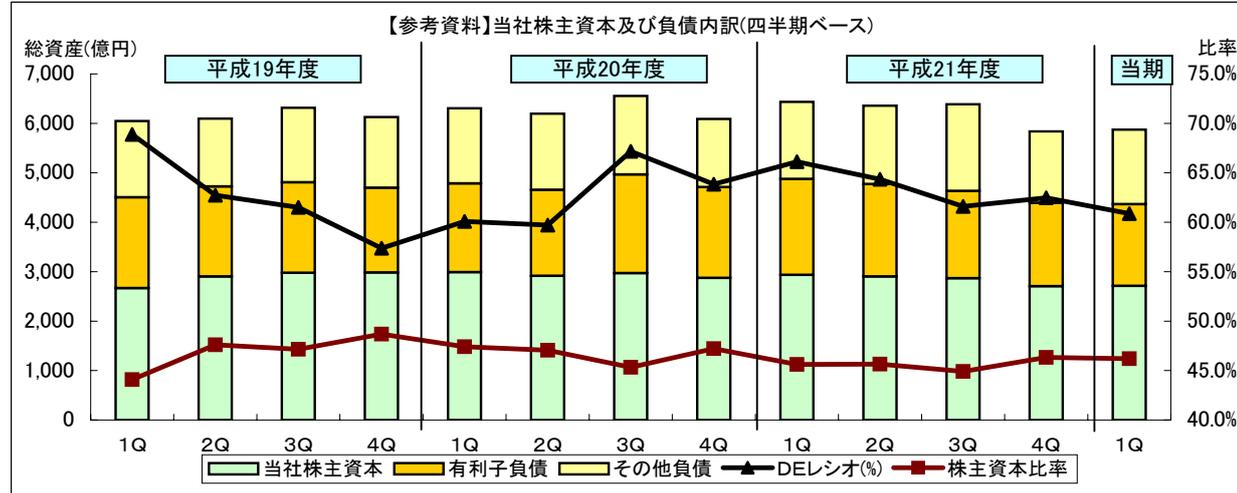
(単位：百万円)

	20年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期第1 四半期(実績)	22年3月期第1 四半期(実績)	対前年同期 増減率	21年3月期 (実績)	22年3月期 第2四半期 連結累計期間 (計画)	22年3月期 (計画)
売上高	248,199	265,713	236,531	△ 11.0%	1,028,449	532,000	1,060,000
売上総利益	45,244	51,458	46,006	△ 10.6%	194,885		
営業利益	2,937	9,738	3,637	△ 62.7%	21,417	9,000	24,000
継続事業税引前当期純利益	2,755	11,634	4,953	△ 57.4%	6,287	6,000	18,000
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,755	7,511	3,161	△ 57.9%	1,657	3,500	10,000
売上高営業利益率	1.2%	3.7%	1.5%		2.1%	1.7%	2.3%
総資産継続事業税引前当期純 利益率(ROA)	0.4%	1.9%	0.8%		1.1%		



(単位：百万円)

	20年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期第1 四半期(実績)	22年3月期第1 四半期(実績)	21年3月期 (実績)	22年3月期 (計画)
総資産	630,471	643,568	587,380	583,684	
当社株主資本	298,912	293,569	271,524	270,439	
有利子負債	179,579	194,127	165,164	168,950	
設備投資額	4,144	4,705	4,527	22,148	23,500
減価償却費	5,764	5,879	5,746	24,000	23,400

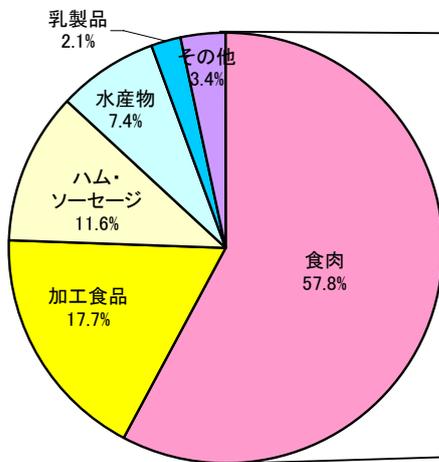


## II 連結売上内訳

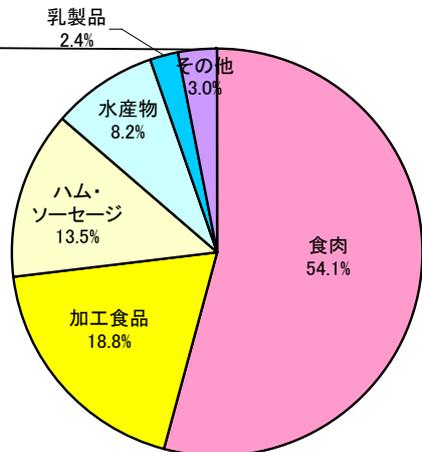
(単位：百万円)

	21年3月期第1 四半期(実績)		22年3月期第1 四半期(実績)		対前年同期 増減率	21年3月期 (実績)		22年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	30,674	11.6%	32,017	13.5%	4.4%	138,876	13.5%	142,000	13.4%
加工食品	47,142	17.7%	44,586	18.8%	△ 5.4%	187,456	18.2%	192,000	18.1%
食肉	153,546	57.8%	127,890	54.1%	△ 16.7%	566,423	55.1%	585,500	55.2%
水産物	19,675	7.4%	19,383	8.2%	△ 1.5%	83,759	8.1%	86,500	8.2%
乳製品	5,572	2.1%	5,661	2.4%	1.6%	22,215	2.2%	23,000	2.2%
その他	9,104	3.4%	6,994	3.0%	△ 23.2%	29,720	2.9%	31,000	2.9%
合計	265,713	100.0%	236,531	100.0%	△ 11.0%	1,028,449	100.0%	1,060,000	100.0%

21年3月期第1四半期連結売上構成比



22年3月期第1四半期連結売上構成比



## III 連結販売費及び一般管理費内訳

(単位：百万円)

	21年3月期第1 四半期(実績)	22年3月期第1 四半期(実績)	対前年同期 増減率	21年3月期 (実績)
人件費	17,646	17,509	△ 0.8%	69,045
販売促進費	2,825	3,443	21.9%	16,517
物流費	8,702	8,520	△ 2.1%	36,877
その他	12,547	12,897	2.8%	51,029
合計	41,720	42,369	1.6%	173,468

## IV 連結その他収益及びその他費用内訳

### 1. その他収益 (単位：百万円)

	21年3月期第1 四半期(実績)	22年3月期第1 四半期(実績)	対前年同期 増減率	21年3月期 (実績)
受取利息・配当金	363	261	△ 28.1%	1,030
為替差益	2,720	2,626	△ 3.5%	-
その他	7	11	57.1%	269
合計	3,090	2,898	△ 6.2%	1,299

### 2. その他費用 (単位：百万円)

	21年3月期第1 四半期(実績)	22年3月期第1 四半期(実績)	前年同期比 増減率	21年3月期 (実績)
有価証券評価損	1	810	-	587
固定資産減損	275	66	△ 76.0%	2,730
特別退職金	110	-	-	1,835
為替差損	-	-	-	8,339
その他	129	169	31.0%	432
合計	515	1,045	102.9%	13,923

## V 地域別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日） (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	219,886	16,645	236,531	-	236,531
(2)セグメント間の内部売上高	96	18,793	18,889	(18,889)	-
計	219,982	35,438	255,420	(18,889)	236,531
営 業 費 用	215,968	35,718	251,686	(18,792)	232,894
営 業 利 益 ( △ 損 失 )	4,014	△ 280	3,734	(97)	3,637

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。  
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

前年同四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日） (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	241,185	24,528	265,713	-	265,713
(2)セグメント間の内部売上高	221	20,877	21,098	(21,098)	-
計	241,406	45,405	286,811	(21,098)	265,713
営 業 費 用	231,882	45,275	277,157	(21,182)	255,975
営 業 利 益	9,524	130	9,654	84	9,738

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。  
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

## 【参考情報～その他の地域の内訳】

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

科 目	米州	豪州	その他
売 上 高			
(1)外部顧客に対する売上高	5,349	9,766	1,530
(2)セグメント間の内部売上高	9,956	4,319	5,391
計	15,305	14,085	6,921
営 業 費 用	15,763	14,333	6,503
営 業 利 益 ( △ 損 失 )	△ 458	△ 248	418

セグメント間取引の消去があるため、前葉の「その他の地域」とは一致しません。

前年同四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）

科 目	米州	豪州	その他
売 上 高			
(1)外部顧客に対する売上高	7,378	14,843	2,307
(2)セグメント間の内部売上高	10,960	5,391	5,485
計	18,338	20,234	7,792
営 業 費 用	18,473	19,993	7,758
営 業 利 益 ( △ 損 失 )	△ 135	241	34

セグメント間取引の消去があるため、前葉の「その他の地域」とは一致しません。